

R5年度芦屋市障がい者 基幹相談支援センター事業報告

基幹相談支援センターの職員構成

- センター長(社協)
- 相談員4名
 - (三田谷・メンタルサポート・社協2名)
- 事務職員1名(社協)

基幹相談支援センターの4本柱

- 専門的な相談支援
- 地域の相談支援体制の強化の取組
- 地域移行、地域定着
- 権利擁護、虐待防止

専門的な相談支援(ケース対応)

- 5名の相談員が、92名を担当。(R5年2月末現在)
 - 課題複合ケースを担当。
 - 計画相談員や一般相談員の後方支援や基幹相談員が担当。
 - 内、15名が虐待対応。

令和5年度の取組

- 昨年に引き続き、基幹相談と障がい福祉課にて全ケースの共有。
- 今後、基幹相談として担当(後方支援)するケースのイメージを具体化する。

地域の相談支援体制の強化の取組①

(事例検討会の実施・SV研修)

市内相談員対象研修

- 精神科医や主任相談員による事例検討会(全5回)
- 触法、他害行為を行う障がい者の家族支援研修
- サポートファイル活用術研修
- 意思決定支援研修など。

尼崎市から見学

基幹相談員のスキルアップ研修

- 人材育成とチームワーク形成方法研修
- 木下先生による基幹相談員研修など。



地域の相談支援体制の強化の取組②

(相談支援連絡会)

目的

- ①相互に相談支援業務のスキルアップと制度・社会資源の情報共有
 - ②地域に根ざす課題の抽出と解決案
- 相談員相互補助、メンタルヘルスの向上を図り、職場定着率を高める。

令和5年度の実績

- 市内新規相談事業所や市外で芦屋市民の計画相談を担当する事業所相談員も参加。



地域の相談支援体制の強化の取組③ (知的障がい・発達障がい疑似体験研修)

令和5年度の実績

- ①これまでの講義形式の疑似体験研修
 - 警察学校(3回)、市役所職員、人権協議会(2回)
- ②地域のイベントにて、疑似体験ブース出展(新規)
 - ヒューマンフェスタ、福祉フェア
- ③地域のイベントにて、当事者との掛け合い体験談発表(新規)
 - でこぼこパーク



地域の相談支援体制の強化の取組④ (「あしやねっと♪」のリニューアル)

現状

- 毎月1,000アクセス
- 主に事業所検索に使われることが多く、ライフステージごとの相談先一覧が活用されていない

リニューアル後のイメージ

- コラムや居場所、みんなに優しいお店情報などの充実を図り、より魅力あるサイトへ



地域の相談支援体制の強化の取組⑤ (障がい児・者作品展)

令和5年度のタイトル

- 夢を描こう～未来を繋ぐアーティストたち～

令和5年度の実績

- 作品数196点(前年度:226点)
- 25団体・作者数310人(前年度:25団体・作者数332人)
- 作品展開催期間に授産品販売日を設けた。(新規)
- 昨年に引き続き、実行委員長を置く。(輪番)



地域移行・地域定着(病院等への普及啓発)

近隣精神科病院にて啓発動画で紹介

- コロナ禍中に作成した「グループホームの一日」など。
- 芦屋市民を含め、15名に実施。

効果

- 積極的な質問や「退院後のイメージや相談する人がわかった」など肯定的な感想をいただいた。

今後の方向性

- 内容を変えて(サービスについての座談会など)、継続的に普及啓発を実施していく。



権利擁護・虐待防止

ケース対応

- 現時点で15件の通報(昨年度36件)

虐待防止研修

- 令和5年9月21日「もしかして、これって虐待？～きづきと通報と対応」
- 講師:福島弁護士 50名参加。

帳票改訂

- 虐待対応書式の見直しと、記入例づくりに取り組む。
- 異動等での職員交代でもすぐに対応できる仕組みづくり。



R5年度のキーワード

計画相談の待ち期間の短縮

- 市内新規相談支援事業所への後方支援
- 他市相談支援事業所への依頼、後方支援

相談員を大切にサポート